

第54回 Pitch to the Minister 懇談会“HIRAI Pitch” 議事概要

1. 開催日時・出席者等

- 日時：令和元年6月24日(木)16:00～17:00
- 場所：中央合同庁舎8号館10階 平井国務大臣室
- Pitch テーマ：大学の研究力強化：地域イノベーションの視点からみた大学の新たな役割と必要な改革について
- 招へい者：三重大学 副学長 西村訓弘
- 出席者：平井国務大臣、左藤副大臣、幸田内閣府審議官、上山 CSTI 常勤議員、中川審議官(科技)、柳審議官(科技)、横井参事官(科技)、堀野参事官(科技)、塩田参事官(科技)、奥田参事官(IT)、西山秘書官、柴山秘書官

2. 三重大学からの説明

- 地域産業界と連携した人材育成と共同研究に特化した大学院(地域イノベーション学 研究科)の創設し、「社長100人博士化計画」に取り組んできた。
- 三重大学内に地域創生戦略企画室という組織を作り、プロジェクト単位、分野横断で地域創生課題に向かっている。
- 地域内での新たな農工連携の事例では、同じ土地でも仕組みを変えると売り上げが10倍以上になることもある。
- 地域内での新結合(組み直し)による価値創造が地域イノベーションであり、既存のものを組み合わせることで地方でも最適化すると東京以上に稼げる可能性がある。それが次の成長へつながる。
- 地方創生に貢献するには大学を地域に開くこと、地域に入り込んだ活動を継続することが重要である。

3. 質疑応答・議論

以下の意見・提言があった。

- 地方と都市の関係は日本と世界の関係と似ており、ピンチをチャンスにできる。ポテンシャルのあるところをどうつなぐかが重要である。
- 大学改革は地域創生そのものであるだろう。
- 既存のものの組み合わせ最適化はたくさんできるはずである。

(了)

(速報のため事後修正の可能性あり)